

# 旬じょうはん

情勢判断学会 東京本部  
会員向けニューズレター  
発行人 古川 彰久  
事務局 〒252-0321 神奈川県  
相模原市南区相模台 1-23-9  
Tel.&Fax.  
042-748-8240  
<http://www.jouhan.com>  
E-mail: info@iki2life.com

## 10月例会ご案内

10月8日 木曜日 18:30 ~ 21:00

テーマ : 「悲劇の再発防止」とは。東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓から考える  
場所 : 港区新商工会館  
参加費 : 1000 円  
担当 : 郷津 光

(発表の趣旨)

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災より 4 年半が経過しました。

震災について、あるいは原発事故について話す機会は少なくなってきたのでは無いでしょうか。

「あの事故とは何だったのか」、「教訓は活かされているのか」「悲劇の再発防止とは」「これから何が起こるのか」といった問について、国会事故調報告書と個人的に作りためた資料を一つの材料としながら、参加者の皆さんと御話させて頂ければと思います。

(簡単な自己紹介)

私は現在、東京電力福島原子力発電所事故調査委員会(通称:国会事故調査委員会)報告書を題材に、「どうすれば、わかりやすく事故の教訓を伝えられるか」をテーマに、個人的に研究を行っています。

(発表の内容)

### 1. 自己紹介

- (1). 東日本大震災以前
- (2). 東日本大震災以降
- (3). 発端
- (4). 国会事故調報告書との出会い
- (5). 内容の検討、資料作成
- (6). 様々な人々との邂逅

### 2. 現状の認識

- (1). 社会にばら撒かれた分断
- (2). 忘れる/忘れない、反脱原発/原発推進
- (3). 対立の激化・先鋭化
- (4). 疲れ果て、擦り切れた世論
- (5). 大衆の眼前でやり過ぎされる「大事故」

### 3. 問題提起

- (1). このままで良いのか
- (2). 何が問題なのか、果たして教訓は活かされているのか、対立を克服出来るのか
- (3). 国会事故調報告書を活かす

### 4. 国会事故調報告書とは

- (1). 他と比較
- (2). 全体構造

### 5. 資料を活用した具体的な内容の検討

6. 国会事故調報告書の内容から見える、これから起こりうる事
7. 目的と方法。戦略と戦術。悲劇の再発防止の為に何が出来るのか

## 例会報告

8月は例会を休会しましたので例会報告はありません。

